

「在宅緩和ケアに関するアンケート」概要

【アンケートの目的】

- 1) 在宅緩和ケアの実態の把握
 - *在宅緩和ケアに関わっているところが、どのくらいあるのか。
 - *どの診療所医師が積極的に関わっているのか（今後の診診連携のために）。
 - *在宅緩和ケアに関して、病診連携を深めていくべき病院は、まず、どこか。
- 2) 在宅に関わる多職種でネットワークを作るための基礎資料とする。
- 3) 現在の問題点を抽出し、解決策を検討する基礎資料とする
- 4) 病院への要望事項の把握 ⇒ 窓口となつてがん拠点病院連携室等へ改善について依頼
- 5) 診療所医師への要望事項の把握 ⇒ 窓口となつて新潟市医師会を通じて周知
- 6) 今後、在宅緩和ケアに関する研修会・勉強会を計画するための基礎資料とする

【アンケート実施主体】

新潟市在宅医療ネットワーク推進事業

事業名「がん在宅緩和ケア多職種連携の推進」

ネットワークグループ名「緩和ケアリンクにいがた」「新潟緩和ケア診診ネット」

事務局：在宅ケアクリニック川岸町 塚田裕子

【調査対象】

- 1) 新潟市内の訪問看護ステーション 35ヶ所
- 2) 新潟市地域包括支援センター 27ヶ所
- 3) 新潟市内の居宅介護支援事業所 231ヶ所

【調査方法】

アンケート用紙郵送による調査

【調査実施期間】

2012年2月1日～2月29日

【調査内容】

- 1) 訪問看護ステーション向け
 - *「がんに対するケアを必要とする利用者」を担当した経験の有無
 - 「がんに対するケアを必要とする利用者」に関して、
 - *昨年7月～12月に担当した上記の利用者数

- * 紹介元の医療機関
- * 訪問看護指示書の指示医療機関
- * 指示医療機関との情報共有のために使っている方法
- * 病院へ感じることや要望
- * 診療所医師へ感じることや要望
- * ケアマネージャーへの要望
- * その他、困っていること
- * 在宅がん緩和ケアに関する研修会や勉強会を開催した場合の参加意思の有無
- * 在宅がん緩和ケアに関してどのような研修会を希望するか

2) 地域包括支援センター（介護予防支援事業所）向け

- * 「がんに対するケアを必要とする利用者」を担当した経験の有無
- 「がんに対するケアを必要とする利用者」に関して、
- * 昨年7月～12月に担当した上記の利用者数
- * 紹介元の医療機関
- * 在宅での主治医の医療機関
- * 主治医との情報共有のために使っている方法
- * 病院へ感じることや要望
- * 診療所医師へ感じることや要望
- * 訪問看護師への要望
- * その他、困っていること
- * 在宅がん緩和ケアに関する研修会や勉強会を開催した場合の参加意思の有無
- * 在宅がん緩和ケアに関してどのような研修会を希望するか

3) 居宅介護支援事業所向け

- * 2)に同じ

【調査結果】

- * 在宅緩和ケアにおける多職種連携の課題解決のための支援策を検討する基礎資料とする
- * 新潟市在宅医療ネットワーク推進事業の事業報告書の資料として新潟市に提出
- * 集計の上、回答していただいた事業所へ郵送
- * 4月の「緩和ケアリンクにいがた」定例会で報告